

親子でいっしょに読んでほしい

# 米子市少年育成センターだより

令和5年7月発行

米子市少年育成センター

## 子どものインターネットにひそむ危険！

生まれたときから便利なインターネットが身近にある子どもたち。しかし、その便利さを悪い人たちも利用しています。そのため、他人に個人情報を知られてしまったり、犯罪に加担してしまったりと様々な問題が発生しています。

### 高額アルバイトに申し込んだら、「闇バイト」だった！

SNSやインターネット掲示板で、「高額バイト」、「簡単・資格不要」などの甘い言葉につられて応募してしまう人がいます。それが、いわゆる「闇バイト」で、犯罪だと気づいたときには、逃げられなくなってしまい、強盗や特殊詐欺等の犯罪に加担させられるケースが起きています。

簡単に安全でたくさん稼げる仕事などありません！



### 軽率なSNSへの書き込みが、一生消えない「デジタルタトゥー」になることも！

「あの人・あのお店、気に入らない！」軽い気持ちで投稿した攻撃的な言葉（誹謗中傷）が、名誉毀損や侮辱罪などの罪になる事もあります。

「冗談のつもり…」「匿名だからばれない」そんな軽はずみな不適切投稿が、未来の自分に負の遺産として残ってしまいます。

### SNSを通じて知り合った人からの被害の増加！

最近では、出会い系サイトではなく、SNSやゲームサイトなどで知り合った人からの誘い出しを受けて、子どもが被害を受けるケースが増えています。

令和4年にSNSに起因する犯罪被害にあった子どもの数は全国で1700人以上になっています。（警察庁・犯罪統計より）

SNSやサイトで知り合った人に、直接会うのはやめましょう！

### オンラインゲームで起きているトラブルとは？！

「無料」となっているオンラインゲームで有料のアイテムを購入して高額料金を請求される、IDを乗っ取られて勝手に課金されるといったお金に関するトラブルだけでなく、誘う・誘わないでもめたり、一人抜けできず長時間やり続けたりといったトラブルもふえています。

かわりにゲームクリアしてあげるから、アカウントとパスワードを教えて！



アカウント情報は大切なものです。絶対に教えてはいけません！！

# 令和4年度 不審者情報の分析から

米子市内で発生した不審者事案は、61件でした。(前年比+1件)

## ◆時期

- ・年間を通して不審者情報が寄せられていますが、特に5～6月と10～11月と1月に多く、この5か月で年間の3分の2以上となっています。

## ◆事案

- ・事案別では「声かけ」が最も多く、全体の40%を占めています。声をかけられた後に、つきまといられる、写真を撮られる、手をつかまれるといった事案が多く、「声かけ」が不審者事案のきっかけとなっています。

## ◆校種別

- ・小学生が48%と半数近くで、次いで高校生が30%、中学生が22%となっています。
- ・前年度と比べて高校生が減り、小学生が増えています。(小学生の割合は3年連続で増加しています。)

## ◆発生時の人数

- ・一人でいる時の発生ケースが60%以上を占めており、一人のときに狙われていることが分かります。

## ◆時間帯

- ・登下校時間帯のケースが80%以上を占めています。特に、「下校中」の場合が60%以上と多くなっています。

## ◎登下校時は、できるだけ複数で行動しよう！

不審者に遭遇しないための行動や遭遇したときに自分を守る行動ができるように、家庭で次の「5つの約束」を意識させてください。

### < こどもを守る「5つのやくそく」 >

- ①外では、なるべく一人にならないようにしましょう。
- ②声をかけられて「へんだな?」と思ったら、きっぱりことわって、**すぐにげよう。**
- ③声をかけられても、絶対についていけない、**車には乗らない。**
- ④こわいと思ったら、大声を出したり、防犯ブザーを使ったりして、**まわりに知らせよう。**
- ⑤外に行くときは、「だれと、どこに行くのか」と「帰る時間」を**家の人に言ってから出かけよう。**

## 自転車に乗るときは、命を守るヘルメットをかぶろう!

令和5年4月1日に施行された改正道路交通法により、全ての年齢層の自転車利用者に対して、乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。

ヘルメット非着用時の致死率は、着用時と比べて約3倍も高くなっています。

**ルールを守る! = 命を守る!**

交通ルールを守ることが、事故のリスクを減少させます。

自転車に乗るときには、みんながヘルメットをかぶりましょう!

